

2022年3月23日（水）

国土交通委員会 質問要旨

『 一 般 質 疑 』

立憲民主党 福 田 昭 夫

はじめに

1. 社会経済活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大について

(1) 鬼怒川温泉街の再生について・・・資料

〈現状と課題〉

◎県管理の国道 121 号線沿いに廃ホテル等が複数建っている。

廃ホテル等の北側は国道 121 号線で、高台には東武鉄道が走っている。南側は鬼怒川溪谷となっている。

◎旧藤原町時代に都市計画道路として決定しているが、手つかずのままとなっている。

◎日光市は、所有者不明の土地と建物に毎年固定資産税を賦課しているが、年度末には償却処分せざるを得なくなっている。

◎これらの廃ホテルを綺麗にするようにと市民やマスコミにも指摘されているが、取り壊し費用や、都市計画街路、遊歩道の整備等の費用が巨額になることが見込まれ、県や国の応援なしには実現できない状況となっている。

〈解決の方向〉

◎市が、歩きたくなるまちづくり（温泉街づくり）の地域計画を策定し、国の、宿泊施設を核とした観光地の再生、高付加価値化事業に取り組むと共に、県と国に都市計画街路と遊歩道の整備をお願いする。その為には、市も廃ホテルの取り壊し費用を捻出する必要がある。

(以下質問)

①宿泊施設を核とした観光地の再生・高付加価値化事業の廃ホテルの撤去支援（観光庁長官）

②観光庁の事業で廃屋撤去費用上限は1億円になっているが、より重点的な支援を（観光庁長官）

③ふるさと納税に伴う寄付金により、廃ホテルの撤去費用を集めた場合、その寄付金は地方交付税の基準財政収入額に算定されるのか。（総務省）

(2) 住宅・建築物の省エネ対策と再生可能エネルギー活用及び木材利用の促進について（住宅局長）

2. 国民の安全安心の確保について

(1) 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について（斎藤国土交通大臣）

①球磨川の現地調査で何を感じ、何を考えたのか。

②球磨川の流域治水をどのように進めるのか。

(2) 盛土による災害防止等について (都市局長)

- ①建設残土の処分先 (土捨て場) の確保は誰の責任なのか。発注者か元請業者なのか。
- ②国または地方公共団体の発注する工事の残土の処分場は国または地方自治体が確保するのか。
- ③適正な処理費用が末端で働くダンプ労働者まで支払われるようになるのか。
- ④既存の埋め立て地の安全対策の指示もできるように考えているのか。

3. 豊かで活力ある地方創りと分散型の国づくりについて (国土交通省)

- (1) 戦略的、計画的な社会資本整備とその効果について
- (2) 所有者不明の土地政策と空家政策による、負の遺産の整理計画の策定について
- (3) 特定複合観光施設区域 (IR) の整備について (IR 担当齋藤国務大臣)

おわりに

要求大臣：齋藤国土交通大臣/IR 担当齋藤国務大臣

政府参考人：国土交通省・総務省

資料：あり

パネル：なし